

地域計画

策定年月日	令和7年3月31日
更新年月日	令和 年 月 日 (第 回)
目標年度	令和16年度
市町村名 (市町村コード)	四国中央市 38213
地域名 (地域内農業集落名)	土居西地区 (道の下・井の上・関の原、木の川・東本郷・中西本郷・石原・名西内・泉・内の川・大谷・下北野・北野・上北野・高曾根・大境・上飯武・中飯武・下飯武・誓辻堂・西土居・久保、北原・三条、西原・上代・庄司・西入野・東入野・長命寺・下畑野・東畑野・西畑野・浦山下・浦山上)

注:「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域計画の区域の状況

区域内の農用地等面積(農業上の利用が行われる農用地等の区域)	401 ha
① 農業振興地域のうち農用地区域内の農地面積	224 ha
② 田の面積	293 ha
③ 畑の面積(果樹、茶等を含む)	99 ha
④ 区域内において、規模縮小などの意向のある農地面積の合計	0 ha
⑤ 区域内において、今後農業を担う者が引き受ける意向のある農地面積の合計	25.2 ha
(参考)区域内における〇才以上の農業者の農地面積の合計	— ha
うち後継者不在の農業者の農地面積の合計	— ha
(備考) ④⑤の数値は、「農業を担う者」の確認できている数値とする	

注1:①については、農業振興地域担当部局と調整の上、記載してください。

2:②及び③については、農業委員会の農地台帳の面積(現況地目)に基づき記載してください。

3:④については、規模縮小又は離農の意向のある農地面積を記載してください。

4:⑤については、区域内に特定することができない場合には、引き受ける意向のあるすべての農地面積を記載の上、備考欄にその旨記載してください。

5:(参考)の区域内における〇才以上の農業者の農地面積等については、できる限り記載するように努めてください。

6:「区域内の農用地等面積」に遊休農地が含まれている場合には、備考欄にその面積を記載してください。

(2) 地域農業の現状及び課題

小規模な圃場が多く、整備が進んでいない当地域では、条件不利地を中心に耕作放棄地が増加している。一部地域では整備事業により、優良な農地の維持・確保などの対策を検討している。

また有害鳥獣被害が発生しており、営農や住環境の悪化が懸念される。

・機械の共同利用への取組も課題

(3) 地域における農業の将来の在り方(作物の生産や栽培方法については、必須記載事項)

比較的小規模な農地や耕作が困難となった農地については、担い手や新規就農者を確保し、可能な範囲で農地を借り受け、地区内の農地の保全及び耕作を維持する。また、特産品の里芋栽培で更なるブランド化を図り産地を維持していく。里芋は、水稲との輪作体系が確立している。

今後は、農地の集約を図り、管理の利便性を高め経営効率の向上や新規就農者の確保が急務である。また、これ以上の有害鳥獣被害拡大を阻止し、優良農地を守っていく必要がある。

・担い手が引き受け得る優良農地へ転換を図るため整備事業の検討も必要

・気候変動への対応

・基幹作物のローテーション

2 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用に関する目標

(1) 農用地の効率的かつ総合的な利用に関する方針			
現状を維持しつつ、可能な範囲で担い手が農地を集約する。			
(2) 担い手(効率的かつ安定的な経営を営む者)に対する農用地の集積に関する目標			
現状の集積率	7 %	将来の目標とする集積率	13 %
(3) 農用地の集団化(集約化)に関する目標			
未定			

3 農業者及び区域内の関係者が2の目標を達成するためとるべき必要な措置

(1) 農用地の集積、集団化の取組
現状を維持しつつ、可能な範囲で担い手が農地を集約する。 農業法人への転換を検討
(2) 農地中間管理機構の活用方法
農地中間管理機構の活用を検討し、効率的に地域全体の活用を考える。
(3) 基盤整備事業への取組
一部地域では、整備事業により、優良な農地の維持・確保対策を検討中である。地域内で事業内容を確認し、可能な整備事業を協議する。 ・水路の更新を進める
(4) 多様な経営体の確保・育成の取組
・小規模農家への対策 ・収益増、担い手増、農用地の価値を上げる
(5) 農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の取組
作業効率に期待できる作業は、委託実施を検討する。

以下任意記載事項(地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組内容を記載してください)

<input checked="" type="checkbox"/> ①鳥獣被害防止対策	<input checked="" type="checkbox"/> ②有機・減農薬・減肥料	<input checked="" type="checkbox"/> ③スマート農業	<input type="checkbox"/> ④畑地化・輸出等	<input type="checkbox"/> ⑤果樹等
<input type="checkbox"/> ⑥燃料・資源作物等	<input checked="" type="checkbox"/> ⑦保全・管理等	<input type="checkbox"/> ⑧農業用施設	<input type="checkbox"/> ⑨耕畜連携等	<input type="checkbox"/> ⑩その他

【選択した上記の取組内容】

- ①鳥獣被害が拡大しないよう防止柵等を設置する。
- ②ソルガム栽培による減肥料への取組み。
- ③スマート事業農業の効果を検証
- ⑦水路の問題(水の確保)、整備事業の検討

